

令和4年第2回教育委員会会議

1 日 時

令和4年1月25日(火)

開会 10時

閉会 10時57分

2 場 所

県庁行政庁舎 17階 教育委員会室

3 出席者

徳田博教育長、新屋長二郎委員、新家久司委員、眞鍋知子委員、高野勝委員、浅蔵一華委員

4 説明のため出席した職員

飯田重則教育次長、杉中達夫教育次長、塩田憲司教育次長、松田豊久教育次長兼庶務課長、江尻祐子教育次長兼学校指導課長、岡橋勇侍教職員課長、清水茂生涯学習課長、山下幸則文化財課長、居村吉記保健体育課長

5 議案件名及び採決の結果

議案第2号 令和4年第1回石川県議会定例会提出予定案件等について（原案可決）

6 報告事項

報告第1号 県立学校における新型コロナウイルス感染症対策について

報告第2号 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における石川県の結果概要について

7 審議の概要

・開会宣告

徳田教育長が開会を告げる。

・会議の公開・非公開の決定

議案第2号は議会提出予定案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき非公開とすることを全会一致で決定。

・質疑要旨

以下のとおり。

報告第1号 県立学校における新型コロナウイルス感染症対策について（江尻教育次長兼学校指導課長説明）

県立学校における生徒等の感染状況についてですが、1月1日から1月24日までに、16校23名の生徒等の感染が確認されています。また、臨時休校の措置をとり既に再開している学校は4校で、臨時休校期間は1日から2日となっています。1月25日現在、臨時休校となっている学校は4校となっています。

感染対策の徹底についてですが、3学期がスタートした1月7日に文書で通知するとともに、1月14日開催の県立学校長会議で指示をいたしました。基本的な感染症対策に加えまして、暖房中であってもこまめに換気をすることや、特に部活動については、まん延防止等重点措置実施区域との往來を伴う練習試合、合宿、発表会等は当面禁止する。その他の地域との往來を伴う部活動を実施するにあたっては、細心の注意を払うこととしています。

今後、まん延防止等重点措置が適用された場合の対応でございますが、部活動については、県外との往來を伴う練習試合、県内外での合宿、県内の高校同士の練習は禁止といたします。また、児童生徒、教職員が発熱等の風邪症状がある場合は、登校を控えることを引き続き徹底することに加えて、同居のご家族に風邪症状がある場合も、登校を控えていただくなどの感染防止対策の徹底を図ってまいります。

【質疑】

（新屋委員）

生徒が感染した場合は、何日間休みになるのでしょうか。

（居村保健体育課長）

オミクロン株の場合、10日間が経過して、PCR検査を受けて陰性が確認されてからの登校となります。

（新屋委員）

10日間休むことになりましたが、その期間は、生徒に対してオンラインで何かしているのでしょうか。

（塩田教育次長）

休んでいる生徒に対してオンラインでしていることは無いと思いますが、従来から課題などを生徒に渡したりしておりまして、学びが継続するように配慮しています。こまめにコンタクトをとりながら、状況を把握しております。

報告第2号 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における石川県の結果概要について（居村保健体育課長説明）

令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により実施されず、本年度は、2年ぶりの調査となりました。

「1 調査の概要」については、本調査は、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に、小学校第5学年、中学校第2学年の全児童生徒を対象として、4月から7月末にかけて、握力、上体起こしなど8種目を調査したものであります。

59ページをご覧ください。「2 調査の結果」の「(1) 実技に関する調査の結果」についてであります。「① 種目別の結果」については、本県の平均値は、小学校、中学校ともに、全ての種目で、男女とも全国の平均値を上回りました。「② 体力合計点の結果」であります。これは、各調査項目の記録を、1点から10点に得点化した上で、8種目分を合計した得点であり、80点が満点になります。本県は、小学校、中学校ともに全国平均を上回り、国の調査報告書を県で確認したところ、小学校男子は全国3位、女子は5位、中学校男子は7位、女子は8位で、男女とも全国上位に位置しております。また、令和元年度と比べると、全国平均及び本県の結果において、体力合計点は、小学校、中学校男女ともに下がっており、国では、その要因として、コロナ禍で学校活動が制限され、児童生徒の運動時間が減少したことなどをあげており、本県も同様の影響があったと考えております。

60ページをご覧ください。「(2) 学校質問紙調査の結果」の中から、本県が、全国上位の結果を維持していることにつながったと思われる特徴的なものについてご説明いたします。学校の体育の授業について、前回の調査結果を踏まえて「授業等の工夫・改善を行ったか」という質問に対して、「工夫・改善を行った」と回答したのは、小学校では、本県は61.9%、全国は45.7%、中学校では、本県は68.5%、全国は54.7%であり、全国より高い数値となっております。これは、県内全ての公立小・中・高等学校の各学校において、前回の調査結果を踏まえ、自校の児童生徒の実態や課題を把握し、毎年、各学校独自の工夫を凝らして体力アップに取り組む「体力アップ1校1プラン」に取り組み、例えば、持久力が弱い場合は体育の授業で走る機会を増やしたり、体の柔軟性が弱い場合はストレッチを多く取り入れるなど、体育授業の工夫・改善等に努めてきたこともこうした結果につながったものと考えております。このほか、全国上位を維持している要因として、小学校において、クラス単位で長縄跳びやリレー、ボール投げなどの種目に挑戦し、その記録をホームページに登録することにより、リアルタイムで県内のランキングが把握できる「スポチャレいしかわ」に取り組みも継続して行っております。仲間と運動する楽しさを感じながら、小学生の運動習慣づくりに努めてきたことも、こうした結果につながったものと考えております。

今後とも、新型コロナの感染防止対策を講じながら、「体力アップ1校1プラン」や「スポチャレいしかわ」などの体力向上の取組はもとより、運動やスポーツをすることが好きな子供たちの育成を目指した一層の体育授業の工夫・改善により、本県児童生徒の体力の向上に、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。なお、次の61ページに調査結果の過去5年間の推移を参考資料としてつけさせていただいております。

【質疑】

(高野委員)

スポチャレいしかわですが、本当にどの学校も、どの学級も登録していて、年度を通じていろいろな取組をしているのではないかと思います。県内では、どれくらいの割合の学校が登録しているのでしょうか。

(居村保健体育課長)

令和元年までは、98%、99%の学校が実施をしておりました。去年はコロナの影響もあり、約90%となりました。今年度については、2月10日まで期間がありますので確定ではありませんが、9割を超えるのではないかと思います。

(徳田教育長)

以降の審議は非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

議案第2号 令和4年第1回石川県議会定例会提出予定案件等について

松田教育次長兼庶務課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

・閉会宣言

徳田教育長が閉会を告げる。